

2019スローシティ国際会議 報告書

開催場所：イタリア・オルビエート市

2019年7月
前橋市観光振興課

チッタスロー国際会議出席に伴うイタリア共和国オルビエート市への訪問（報告）

1 目的

前橋・赤城地域（富士見・宮城・大胡・粕川・芳賀地区の一部）は、平成29年5月にスローシティ国際連盟に加盟したが、スローシティ国際会議に出席し本市の取り組みをアピールするとともに、他の加盟都市との交流や意見交換、スローシティ発祥の地であるオルビエート市内の視察等を実施することで、スローシティに対する理解を深め、スローシティの理念に基づく持続可能な地域づくりに向けた施策の展開に活かすとともに、今年度は本市の友好都市であるイタリア・オルビエート市で国際会議が開催され、国際連盟からの積極的な参加要請もあったことから、友好都市オルビエート市との今後の交流を一層促進させることを目的に訪問した。

2 日程

令和元年6月20日（木）から6月25日（火） 6日間

3 参加者21名

前橋市 市長 山本 龍
前橋市議会 議長 阿部 忠幸
前橋市議会議員 岡田 修一
前橋市議会議員 豊島 孝男
前橋市議会議員 林 幸一
前橋観光コンベンション協会 大胡支部長 米岡 孝夫
前橋観光コンベンション協会 宮城支部長 石橋 照夫
前橋観光コンベンション協会 粕川支部長 後閑 千代壽
前橋観光コンベンション協会 富士見支部長 青木 泰孝
株式会社徳永 筆頭取締役 徳永 力
株式会社エーアンドビー企画 代表取締役 林 智浩
前橋市国際交流協会 相馬 壽子
前橋市国際交流協会 ラウラ・ディ・クローチェ
金属彫刻家（スローシティ・シンボルモニュメント作者） 茂木 康一
NPO 法人赤城自然塾 渡邊 しのぶ
上毛新聞社 記者 臂 真里緒
前橋市 秘書課長 片貝 伸生
政策推進課長 草野 修一
文化国際課長 原田 陽一
観光振興課長 真庭 祐次
観光振興課 主任 唐澤 正樹

4 行程（スローシティ国際会議の主なスケジュール）

6月20日（木）

午前	前橋市役所集合・8:30 出発
午後	成田空港を出発
	ローマ空港に到着→オルビエート市へ（車で約2時間）
	オルビエート市到着
	＜オルビエート市内宿泊＞

6月21日（金）

午前	<u>オルビエート市内視察</u>
午後	<u>スローシティ国際連盟創立20周年記念式典</u> 【マンチネッリ劇場】
	市内で昼食
	<u>セミナー／ワークショップ</u> 【パラッツォ・デル・ポポロ】
	スローシティ前橋・赤城の取り組みについて、山本市長によるプレゼンテーション
	<u>オルガンの歓迎コンサート</u> （予定）【オルビエート大聖堂】
	<u>歓迎レセプション</u> （ガラディナー）【リストランテ・アル・サン・フランチェスコ】
	＜オルビエート市内宿泊＞

6月22日（土）

午前	<u>スローシティ総合会議</u> 【パラッツォ・デル・ポポロ】
午後	<u>ビュッフェ・ランチ</u> 【パラッツォ・デル・ポポロ】
	オルビエート市内視察
	<u>「バラ・フェスタ」夕食会</u> 【ロッカ・リペセナ村】
	＜オルビエート市内宿泊＞

6月23日（日）

午前	<u>聖体祭（コルプス・ドミニ）</u>
	オルビエート市街地を伝統的な衣装で行進する様子を見学
午後	昼食パーティー【イル・リポジーノ】
	オルビエートを出発しローマへ（専用車で約2時間）
	ローマ到着
	茜ヶ久保国際交流名誉アドバイザーを含めた夕食会
	＜ローマ市内宿泊＞

6月24日（月）

10:00	ホテルをチェックアウト日本へ
-------	----------------

6月25日（火）

10:30	成田空港到着→バスで前橋へ
-------	---------------

5 スローシティ国際会議の概要

(1) 6月21日（金）午前

チッタスロー国際連盟ピサニ会長及びオリヴェティ事務局長を表敬訪問

（場所：チッタスロー国際連盟本部）

会議参加者に配布されたペンやメモ帳、キーホルダー等は、プラスチックを極力利用せず、紙や布で作られたものであり自然環境保護の配慮が伺えた。

→本市のノベルティ等についても雰囲気づくりのため必要に応じて同様の観点で作成する必要性を感じた。



左からオリヴェティ事務局長、山本市長、ピザニ会長、阿部議長



訪問団登録・受付の様子



参加者に配布されたノベルティ

オルビエート市内の歴史的な中心部の視察（地元の高校生ボランティアによる英語でのガイドツアー）

視察コース：ポポロ広場 - コンフォロニエラ - ピアーヴェ兵舎 - サンドミニコ教会 - ハドリアヌスの地下迷路

参加者は4つのグループに分かれ、英語学習を目的の一つとした地元の高校生ボランティアによるガイドによりオルビエートの歴史的な中心部の視察を実施。本市訪問団はオランダや中国からの参加者とともに視察を行った。高校生が外国からの参加者に対して主体的にガイドしていた。



オルビエート市内視察



ガイドをする高校生ボランティア



コンフォロニエラから眺めるオルビエート市の田園風景



ピアーヴェ兵舎（現在は兵舎としてではなく、聖体祭で使用する衣装や道具等の保管場所等として利用されている。）



ハドリアヌスの地下迷路

(2) 6月21日（金）午後

チッタスロー国際連盟 20 周年記念式典（会場：マンチネッリ劇場）

マンチネッリ管弦楽団による演奏後、チッタスロー国際連盟名誉会長パオロ・サトゥルニーニ氏やオルビエート市長ロベルタ・タルダーニ氏も参加し、チッタスロー国際連盟の 20 周年を記念した式典が行われた。

式典後、6 月に新市長となったタルダーニ市長に市長就任のお祝いを伝えた。



20 周年記念式典



中央がオルビエート市長のロベルタ・タルダーニ氏



式典後のカクテルパーティー



昼食は前橋市出身の方のお店で交流

チッタスローワークショップ：“複製可能なグッドプラクティス”（会場：パラッツォ・デル・ポポロ）

山本市長が前橋・赤城の取り組みについてプレゼン
市長プレゼン資料は別紙（資料 26 ページ）



山本市長によるプレゼン

他都市の主な事例発表

ヴィガラーノ市（イタリア）“大都市の景観”

「景観をインフラとして捉えメンテナンスする」というフォルティーニ氏の説明は、利便性を犠牲にしても伝統的な古い街並みを市民の誇りとして大切にするヨーロッパの文化的な豊かさとその姿勢が感じられた。

本市においては広瀬川河畔などで景観形成の取り組みが進められているが、スローシティエリアにおいても、例えば赤城大沼や中之沢美術館周辺などといった狭い範囲で景観形成を目的とした取り組みができないか検討する必要があるように感じた。なお、昨年からスローシティエリアにおいて屋外広告物の改修や撤去に対する助成制度をスタートさせている。

サロルノ市（イタリア）“ガヤプロジェクト”

イタリア北部の人口 3,800 人余りの基礎自治体であるサロルノ市では、若者への政治参加を促すため、生活の質を向上させるためのアイデアやプロジェクトの提案コンテストを実施。優秀者には賞金が授与され、提案された政策は自治体が実際に採用する。

ピール・エン・マース市（オランダ）

オランダは 11 都市がスローシティ国際連盟のネットワークに加盟。ピール・エン・マース市の取り組み事例として、景観形成、持続可能な観光、子どもの食に対する正しい認識の啓発、農家のライフスタイル構築、地域の職人への支援、伝統的な衣装を着た祭りなどの話があった。市政全般の取り組みとして本市と共通するものが感じられた。

セフェリヒサル市（トルコ）

「子どものための都市 (Children Municipality)」という子どもたちが社会生活を営むためのエリアを模擬的に設け、学校とは違った体験をさせることで、子どもの興味や能力を開発させるとともに社会参加の意識を高めるプロジェクトを実施している。

潭陽郡（タミャン郡）（韓国）

竹や竹細工製品の生産が盛んな「竹の町」として知られる潭陽郡（タミャン郡）は、ハングルで詩を作る歌辞文学が発展した地域であることから、文学のプロジェクトを立ち上げ取り組みを進めているとのこと。地域固有の資源や歴史文化を活かした取り組みは、本市の取り組みと共通しており同じアジアの取り組みであることから興味をひかれた。

Convergenze SpA 社（イタリア）

EV0 プロジェクトという排他的な契約を必要としない電気自動車用の充電スタンドのオープンネットワークを紹介。Convergenze SpA 社とスローシティ国際連盟との間で協定が締結され、スローシティ加盟都市における持続可能なモビリティの促進に対する相互支援が確立された。

今後 12 か月のうちに、スローシティ加盟都市に 12 の EV0 発電所を設置する予定。

ピザニ会長より補足：ヨーロッパ以外の地域にも普及促進できると思うので希望する自治体は連絡してほしい。

V-ITA 社（イタリア）

イタリアスタイルの e-bike について



V-ITA 社によるプレゼン



会場外に展示されていた e-bike

ウエルカムオルガンコンサート・ガラディナー（会場：大聖堂他）



ウエルカムオルガンコンサート会場の大聖堂



ガラディナー会場



韓国の参加者と交流を深める山本市長、阿部議長

(3) 6月22日(土) 午前

総合会議(会場：パラッツォ・デル・ポポロ)

【ロベルタ・タルダーニ オルビエート市長による挨拶】

「オルビエート市へようこそ。スローシティ国際会議がオルビエート市で開催されることを歓迎します。私はつい先日、市長に就任したばかりです。オルビエート市が本物であることを示す政策を市民の立場で実現していきたい。」

【イントロダクション】

スザンナ・タマーロ氏によるスピーチ「共有と交わり」

「オルビエート市在住。作家であり農家(養蜂家)である。戦前は人間関係を重視した建築様式だったが、現在は効率性が重視された単なる箱のような建築になってしまっている。スーパーマーケットは食事や食料の価値を低下させている。子どもたちに食事の価値を教育する必要がある。人間本来のビジョンが中心となる世界を作っていきましょう。」

【各国レポート】

オーストリア - オーストラリア - ベルギー - 中国 - フランス - ドイツ - イギリス - イタリア - 日本 - オランダ - ノルディック(デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、アイスランド) - 北キプロス周辺 - ポーランド - トルコ - 韓国 - 台湾 - 米国

日本を代表して山本前橋市長が挨拶。スローシティの推進役である市民団メンバーへ感謝を表すとともに、アジアのスローシティ加盟都市との連携協力などについてスピーチを行った。

その他参考となるレポート

スペイン 低コストで実施可能なチッタスローのアイデア

- ・郷土料理（スローフード料理）を提供するレストランやホテルの認証
- ・卒業論文などでチッタスローロゴを使用する場合ロゴを有償提供
- ・グーグルドライブを利用した情報発信
- ・ロウソクを灯したナイトフェスティバル

オランダ プラスチックバッグのリサイクル化の取り組み

イギリス ペットボトル等のプラスチック削減キャンペーン

企業、学校、評議会、教会などと連携し使い捨てプラスチックの使用量を削減し、プラスチックが引き起こしている環境被害の意識を高め、自分自身で持続可能な選択をするよう推奨するキャンペーンを実施

ベルギー 電線の敷設に対する景観や人体への影響に対する懸念について

→賛成多数で国際連盟としても支持することを承認

【議事報告等】

チッタスロー国際連盟会長 ステファノ・ピザニ（イタリア）

市長たちの協定の新たな契約とEU地域委員会（参考資料 33 ページ）

新しいチッタスローモデルの構築

来年は新会長を選出する

チッタスロー国際連盟副会長 アルノウド・ローデンバーグ（オランダ）

EGTC チッタスロー（資料 39 ページ）

EGTC は法人として欧州委員会に正式に設立を許可された。欧州組織への加盟により国際的な地域や世間での関心が高まるとともに、EU からの助成金を得られ成功の可能性が広がった。

EU 加盟国の自治体が EGTC チッタスローのメンバーになることができる。EGTC チッタスローのメンバーになる意思がある自治体やプログラム作りのワーキンググループへの参加希望があれば書類を提出してもらいたい。→EU 加盟国の自治体による組織であり本市は対象外

チッタスロー国際連盟副会長 ボン・ソン（韓国）

「韓国からのチッタスロー喜び」

韓国では 15 の都市がチッタスロー国際連盟に加盟。6 冊の出版物を刊行した。

“漫” の字は韓国で幸せを表す。資本主義に対して「マンボリズム」を主張。

チッタスロー国際連盟 オリベッティ事務局長

■ 2018 年決算報告 → 承認

決算額 472, 838. 91 ユーロ

(内訳: メンテナンス 6, 180 ユーロ、コンサルティング 23, 110 ユーロ、リソースと開発 16, 638 ユーロ、トラベル 38, 048 ユーロ、管理費 112, 370 ユーロ、TERRA MADRE + ADS 126, 281 ユーロ、スタッフ 150, 211 ユーロ)

■ 2019 年から 2030 年までの活動方針

- ・ポリシー・選択・プロモーションの 3 点を重視する
- ・「ISO37101」認証について取り組む。※地域社会における持続可能な開発の国際認証
- ・産業界や大都市との連携など新たな関係構築についても手を伸ばしていきたい
- ・ベトナムやネパールなどこれまでの加盟国ではないエリアにもチッタスローを広げたい

■ その他

- ・貢献者表彰とお礼

チッタスロー国際連盟名誉会長 パオロ・サトゥルニーニ氏

ポーランドチッタスローの前コーディネーター アルトゥール氏

学生ボランティアへのお礼

チッタスロー国際連盟名誉会長 パオロ・サトゥルニーニ氏

「可能な限り最高の世界に向けて」(資料 43 ページ)

マウリジオ・グッビオッティ、フェダーパルキ (イタリア) の代表者 - ヨーロッパの自然と国立公園連盟
ユーロパーク

「共同行動のためのマニフェストのための提案 (EUROPARC-自然と欧州の国立公園連盟)」

(資料 45 ページ)



総合会議で挨拶する山本市長



黄色い札を挙げ賛成票を投じる山本市長。前方右側から韓国スローシティ協会
ボン・ソン教授、山本市長、スローシティ国際連盟科学委員会ジュセッペ・ローマ氏



総合会議会場：パラッツォ・デル・ポポロ

(4) 6月22日(土) 午後

夕食会【ばらフェスタ】(会場：ロッカ・リペセナ村)



(5) 6月23日(日)

聖体祭 (コルプス・ドミニ) への参加・見学

本市からの訪問団は和装で参加。オルビエート市民や各国の参加者などと交流を図った。また、山本市長が聖体祭の行列の行進に参加した。



和装で聖体祭へ参加する本市訪問団



オルビエート市民等との交流の様子



聖体祭（コルプス・ドミニ）の行列の様子



聖体祭（コルプス・ドミニ）の行列に参加する山本市長

交流会（昼食会）



前橋市国際交流名誉アドバイザー徳永氏ホテルでの昼食会



左はオルビエート市元評議員のヴィンチンティ・アンドレア氏

本市訪問時に敷島公園ばら園でイタリア産ばらの植樹をしたことからばら園の写真をプレゼントした

夕食会（ローマ在住の前橋市国際交流名誉アドバイザー茜ケ久保氏を招待）



左から山本市長、阿部議長、茜ケ久保氏、助手のオカノ氏

ベストプラクティス賞を受賞（農業・観光・職人の政策部門）

受賞内容：赤城山サイクルフェスタ（赤城山スタンプラリー・赤城山グルメライド）

申込書（和訳）



2019 年度ベストプラクティスコンテスト申込書

自治体...前橋・赤城（前橋市）..... 国名...日本.....

連絡を取る方 ...前橋市 観光振興課 唐澤正樹... 電話...027-210-2189

メール ...kanko@city.maebashi.gunma.jp

プロジェクト名

赤城山サイクルフェスタ（赤城山スタンプラリー・赤城山グルメライド）

確認クライテリアのカテゴリー：プロジェクトのカテゴリーを選びください

- ☐ エネルギーと環境の政策
- ☐ インフラストラクチャー（基礎構造）の政策
- ☐ 都会の生活政策の質
- ☒ 農業、観光、また職人の政策
- ☐ おもてなし、認識、また訓練の政策
- ☐ 社会的結合

プロジェクトの要約

【環境に優しく健康にも良い自転車を有効活用したサイクルイベント】
サイクリストの回遊促進を目的とした3か月間の電子スタンプラリーと地域の美味しいものを自転車で巡り食べる1日限りのグルメライドイベントを実施した。

・赤城山スタンプラリー【2018.9.15～11.30（3か月間）】
スローシティエリアの施設に設置された電子スタンプ（57か所）を自転車で巡り、スマートフォンでチェックする仕組み。スタンプ数に応じて景品を取得することができる。

・赤城山グルメライド【2018.11.4（1日）】
ショートコース（35km）、ミドルコース（70km）、ロングコース（92km）の3つのサイクリングコースを設け参加者を募集した。参加者は自転車で休憩ポイント（エイドステーション）を順番に巡り、地元の人々と触れあひながら地域の名産品等を食べることができる。

プロジェクトの目標

- ・スローシティエリアの自然環境、食文化、観光資源等を広く周知する。
- ・都市住民と地域住民との触れ合いの機会を創出し、交流人口の増加を図る。

プロジェクトの結果

サイクルスタンプラリーの参加者は376名、グルメライドの参加者は248名で計624名。グルメライド参加者の約30%は県外在住者で、赤城山地域の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることができた。

会計（費用と利益）

費用：5,063,416円

・収入内訳 大会参加料：1,602,000円、協賛金：140,000円、国庫補助：2,836,000円、前橋市負担金：500,000円

・支出内訳 ゲスト謝礼金：90,000円、消耗品費：1,523,020円、印刷費：357,653円、通信費：57,523円、借料：201,420円、雑役務費：2,833,800円

スタッフ（関わるスタッフと作業時間）

メインスタッフは、赤城自然塾（NPO Akagi Nature & Tourism Organization）職員 1名
グルメライドイベント開催の半年前から準備を行った

追加情報（必要次第）

隣接する桐生市と連携して実施した。

ウェブサイトリンク
（あれば）

この用紙に記入した上、redazione@cittaslow.net に送付してください。



ベストプラクティス賞の楯



ベストプラクティス賞の賞状

2019 チッタスローベストプラクティス賞 結果内容

全州市(韓国)スコア:5 CHIOCCIOLA ORANGE 2019(最高賞)

都市生活政策の質

「パルボックアートファクトリー」

全州市は、完全なチッタスロー様式で、廃墟の2棟の建物の再利用を促進しました。1500年前のビデオテープと全羅道総督の古城です。このプロジェクトは、地元の文化的環境の再生と活性化、文化的再生のための新しい中心地、観光客や住民のための魅力の創出という目的を達成しました。プロジェクトは実際に展覧会および創造的な美術学校を含む芸術家の活動を支えた。

トラヴァコ・シッコマーリオ(イタリア)

環境エネルギー政策部門

「やり直しましょう」 - リユースセンター

このプロジェクトは、エネルギーと環境、社会保護と貧困との闘いなど、さまざまな機能的側面を統合したものです。介入は、廃棄物の発生による生態学的影響を減らすことによって、持続可能なライフスタイルを促進します。

鳳林鎮(ほうりんちん)(台湾)

おもてなし、意識と訓練のための方針部門

"Little Fong、それは学校の時間です"

このプロジェクトは鳳林鎮によって開発されたイニシアチブの成果です。チッタスロー鳳林鎮で起こった本当の話に基づいた絵本が製作されました。本は地元の歴史、動物、パーティー、食べ物、工芸品、人々と統合されたチッタスローの考えを含みます。

エンス(オーストリア)

都市生活政策の質部門

「ポップアップ店舗」

このプロジェクトは、大きなショッピングセンターによる地元の小さなお店の危機によっても引き起こされた、小さな町での砂漠化プロセスを減らすために介入します。このプロジェクトは、ポップアップショップを導入し、さらなる会社の移転を防ぎ、新しい事業の創出を促進することによって、半放棄された商業地域の不快な環境を活性化させます。

ルバワ(ポーランド)

インフラストラクチャ部門

「人生は城に戻る」の方針

地方自治体は、Chelminoの司教たちの城を再建し、それを社会活動の中心地に変えることを決定しました。アイデアは、記念碑の周りに教育の道、自転車道、橋、そして訪問者のための小さな駐車場を作ることでした。城の中で社会活動の中心地はチッタスローの国際ネットワークに属するポーランドの都市に

よって作成されました。それは障害者のニーズに完全に適応しています。場所、地域の歴史的価値、そして活動の目的が城をルバワの重要な場所にしました。

ファールス(オランダ)

社会的結束部門

"Exchange Store Vaals"

目標は社会的格差を減らし、恵まれない家族を支援することです。特に、このプロジェクトは、恵まれない家族の健康と福祉の構造的で持続的な改善に取り組んでいます。店は物事やサービスを交換し、皆のための出会いの場を提供するために働いています。

前橋・赤城(日本)

農業・観光・職人の政策部門

「赤城山サイクリングフェスタとグルメライド」

自転車で場所を移動しながら、地域のサイクリストを魅了して地域の美味しさを味わうことを目的としています。このプロジェクトには、農村地域に関する情報の普及、チッタスロー地域の食文化に関する知識の普及、およびその自然資源や観光資源に関するデジタル技術も含まれています。このイニシアチブは、大都市に住む人々が田舎に住む地元の人々と出会う機会を提供します。

チッタスロー International ビデオコンテスト賞 2019

ヤクシ (中国) 「Yaxi、もっと減速」

Yaxi 地域の画像、経験、人々、風景や製品を通して、素晴らしい技術的なスキル、詩、美しさ、チッタスローの哲学で表現されているビデオ

リッツバーク (ポーランド) 「リッツバーク・イン・チッタスロー」

リズムと喜びをもったチッタスローの価値と典型的なプロジェクトを表現した優れたコミュニケーション能力について表現

金海市 (キメ市) (韓国) 「Harmonious from a Harmonious Life」

大都市の多忙な生活の中に存在する矛盾を技術的に優れたものとして表しており、観客の興味をそそる数多くの利点をもたらしてくれたことに対する特別の言及 チッタスローの環境で調和のとれた生活を送っています。

グルペンウィッテム (オランダ) 「Gulpen- Wittem の気持ち」

風景の美しさと日常生活の美しさを通じたこのビデオはチッタスローの生活の質の向上への重要な貢献をしています。

その他写真

オルビエート市中心部の街並み



道路は清潔で多くの場所でテラス席等が設けられている



窓には植物やフラッグなどが掲げられ統一性があり美しい



壁面緑化が美しい通り



自動販売機も道路上ではなく屋内に設置されている



歓迎フラッグ



スローシティ国際連盟本部

チッタスローマーケット・ストリートフード



資 料





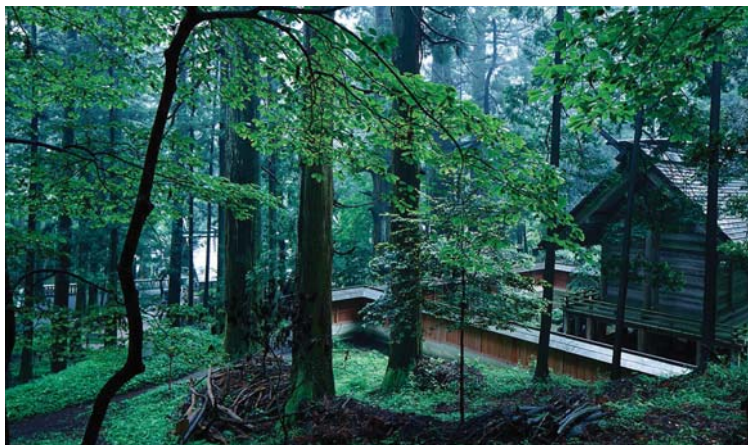
Cortina d'Ampezzo 1956



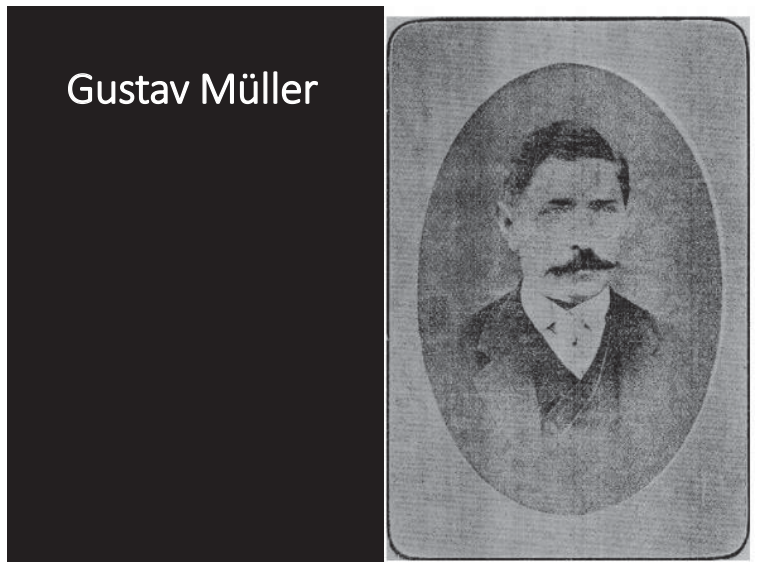
Ms. Oh, Young Sil
Cittaslow Korea

Mr. Giorgio Olivetti
Secretary General of
Cittaslow International

Mr. Dehyun Sohn
Cittaslow Korea



1500 years ago, an imperial local office was established in our city.

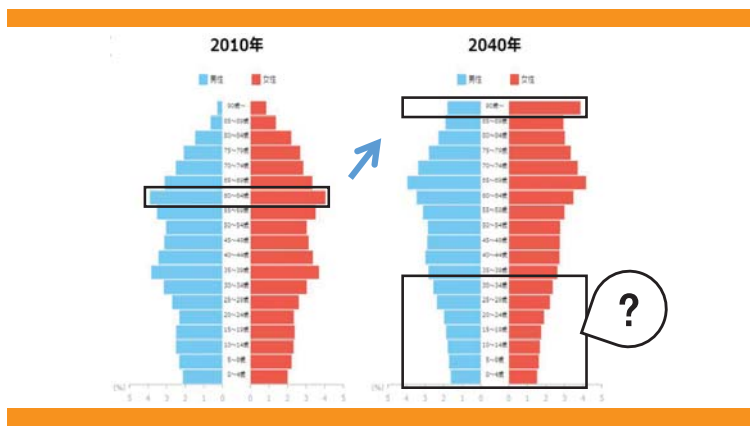




Label of raw silk for export



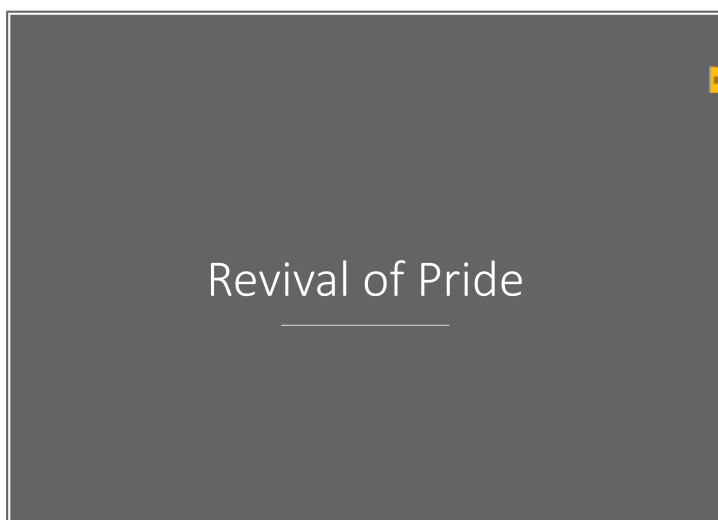
We pursued richness.



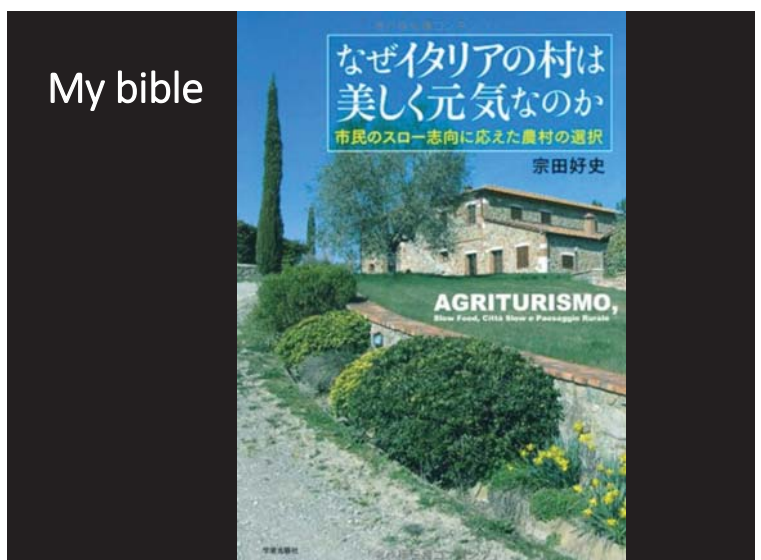
15

“Creating jobs for young people so that they stay”

“Giving the elderly a reason for living”



Revival of Pride



My bible

Shinto ritual



A puppet play



A gun ceremony



Dancing



Field of wine grapes



This is the local wine.





Artists migrate and set up studios.



variety of works



swordsmiths

camp in the middle of winter



A dogsled race



They changed an old empty farmhouse into a hotel.



life from 200 years ago has been reborn



very old house became an important cultural asset



pride of our citizens



Teleworker has come



Cittaslow bloomed



Thank you
Grazie



持続可能である公正な幸福を目的にする 市長たちの協定書

「ダウ式平均株価を基礎にして国の精神を測定することができません。同じく、国内総生産を基礎にして国の成功を測定することもできません。国内総生産ということは、空気汚染、タバコの広告、毎週末に高速通りで事故によって死んでしまう多くの方々の死体を片付けてくれる救急車の活動などを含めます。また、子供に暴力的な商品売るために暴力に価値を与えるテレビ番組、ナパーム、ミサイル、核兵器も含めます。ですが、国内総生産は、市民の健康、教育の質、楽な時間を過ごすときに感じる幸福などを含めません。詩の素晴らしさや家庭の価値観などを含めません。裁判所は保護してくれる正義、人々の間にある公正な関係を考慮しません。我々の機知、勇気、恵み、知識、哀れみなどを測定しません。つまり、人生を生きることにあたいするものだけ、測定しません。」

ロバート・ケネディ（Robert F. Kennedy）、1968年3月18日にカンザス大学でしたスピーチより。

はじめに

「持続可能である公正な幸福を目的にする市長たちの協定書」とは？

それは制度的、社会文化的構造の主要な要素間の同盟関係であり、そこから私たちは未来の社会構造を創り出すことができます。チッタスロー国際連盟に加盟したヨーロッパ18か国の市町村の20年の経験を活かして、欧州委員会に情報を提供し支援することで2020-2030を主導していくための政治的イニシアチブです。

この新しい協定書の目的は？

我々の「マクロ目標」（[幅広い分野に関する目的](#)）は、市民の幸福のレベルを上げることです。

2030年を見通す「気候変動・エネルギー政策枠組み」（Policy Framework for Climate and Energy）によると、2030年までに欧州連合全体の目標は次のようになります：温室効果ガス排出量が1990年比-40%；再生可能エネルギーの割合が27%；エネルギー効率改善を通じて、次エネルギー消費量-27%。我々の考えでは、今後、市民の健康や幸福を確保するために、このような政策は「必要ですが、まだ全然足りません」。チッタスロー国際連盟に加盟した市町村は採用しているようなアプローチ、すなわち多分野にわたるアプローチを採用することで、経済社会取組が取れるエリアを広げる必要があります。

つまり、「持続可能である公正な幸福を目的にする市長たちの協定書」は、我々は以前ほど発表した「2050年までに炭素排出量の低い経済競争に転換することに目指す見込み」や欧州委員会による「交通の白書」と一貫した取組です。また、環境的な持続可能性だけでなく、社会的な持続可能性、共同社会的責任（*shared responsibility*）、所得再分配、社会正義、地域社会に積極的に参加する市民になること（*active citizenship*）、あらゆる年代の人々は充実感を得ることなども、「幸福」の必須な要素として考え直す取組です。

我々の目標は、国々は多くの分野に投資したり、標的がきちんとある戦略を選んだりすることで達することができます。国際連盟としても市町村のそれぞれとしても、チッタスロー国際連盟の様々な経験を活か

しながら、特別な分野における取組、我々の目標を達するための最も相応しい方策を優先にできます。

内容や目標のほか、手段も決める必要があります。

我々の考えでは、その手段は、社会的組織の最も小さな「部品」である市町村内で見つけることができます。それは、同意を得た共力作用のアプローチです。このようなアプローチの例の一つは、「エネルギー及び持続可能な政策に関する市長たちの協定書」です。それは、主な役割があった市町村の我々市長たちを巻き込んだ欧州連合は提供していただいた素晴らしい機会でした。このような協定書のおかげで、とても重要な目標を達することができるようになりました。また、短期間で温室効果ガス排出量を減少させることだけではなく、様々な企画や活動に地域の皆さんを巻き込み、持続可能性や交通などのテーマについての意識を広げながら、「地域コミュニティ」のコンセプトを大きく変えました。

次第に、最近欧州連合は、生物多様性及び自然環境の保護政策に関する世界無二の枠組みを発表しました。それは、我々は生活している環境、市政や国政との我々の関係に関する革新的なビジョンを確保する新しいアクションプランです。同時に、自然をしっかりと保護し、ヨーロッパ市民の生活の質を改良し、経済的に有用な価値を生み出すことを目標にします。このようなアクションプランは、15つの行為を含めます。その目的は、欧州連合の環境に関するルールの実施を強めることです。そのため、公正な繁栄を作るために優先で必要な要素を組み合わせています。

我々の市町村は、我々の市民のために幸せな未来を抱く新しいグローバルネットワークのノードになったのを想像してみましょう。そうすると、欧州連合は発表した枠組みは考え直されたビジョンになり、市町村とその地域の関係に含めたプロセスや行為は将来の社会的組織の基本が作れる新しいアプローチになることが分かります。

持続可能である公正な幸福を手に入れるための指導

1. 持続可能な経済・循環経済

チッタスローの市町村は、環境に強く集中する新しい経済的なアプローチです。一般的に、「循環経済」に移ると、市民の幸せや健康も増えていきます。国連総会は発表した「2030年を見通す持続可能な発展目標」も「気候変動に関するパリ協定」も、単に利益を求めることなく、社会の発展や環境の保護を目的にする循環経済に移動するための指導を紹介する重要な資料です。

★ 循環経済は、原材料、商品、ゴミなどを再生するアプローチを勧めます。循環経済の柱は、生産、消費、ゴミ管理、リサイクルできる原材料を利用する産業・商業を促進することです。

（ラウラのメモ）例：海や水にあるプラスチックの問題についてですが、世界中の市町村は、チッタスローの市町村のような取組を実施すれば、その問題はこれようになりませんでした。国政も市政も、環境保護団体と協力する必要があります。

2. 自然遺産と多様性

世界の経済的な豊かさや人々の健康は、自然遺産の状況によって変わります。それは、人々にとって不可欠な商品やサービスを提供してくれるエコシステムも含めます（例：肥沃な土地、森林、生産力がある海、

飲用水、けがれない空気、受粉、供水防止、気候の調節など)。「自然遺産」という表現は、自然や多様性の価値を物質的に表現するために、経済的な専門用語として借りました。自然遺産に関する欧州連合の新しい挑戦は、自然の保護だけではなく、ヨーロッパの人々の生活質をよくしたり、経済上の利益を生み出したりするこの協定書に入れておきました。

★ これは、欧州連合による「気候変動・エネルギー政策枠組み」の4つの目標、生物多様性及び自然環境の保護政策に関するアクションプランの15つの行為、共有の幸福や富裕があるような将来を作るために優先が高い重要な要素を含めます。他に、下記のエコシステム（水、空気や土など）に関するサービスも提供するように勧めます。

- 生命の支援（養分循環、土壌生成、一次生産）
- 品物の供給（食品生産、飲用水、燃料、源材料）
- 調節（気候や潮流、水の浄化、受粉、害虫の抑制）
- 文化的価値観（美的感覚、美しさ、創造力、精神、教育的な価値観など）

3. 文化資本

「文化資本」というのは、階層社会内で社会的流動性を促進する人間の社会遺産（教育、知性、雄弁、衣装など）ということです。文化資本は、商品の交換などの風習に基づく経済制度内で社会的な繋がりになり、社会的に珍しくて保護する必要があると思われる象徴的な有形資産を含めます。商品の交換に基づく制度内で存在する社会的な繋がりとして、文化資本は、人に社会的地位と権力を与える文化知識も含めます。

★ 下記の取組を実施する必要があると思います。

- どのようなレベルでも、どのような人でも、利益は公正的に提供されるのを確保するために、補完性原理を守る多層の支配（*multilevel governance*）が必要です。
- ステークホルダー（**市民や賭け金の保管人**）は、いつでも政策決定のプロセスに参加できるようにしなくてはなりません。
- 有形、無形、デジタル文化遺産を繋げた上で、その社会的、文化的、象徴的、経済的、環境的な価値観を守らなくてはなりません。
- 文化遺産は他の分野にも貢献できるような政策を取らなくてはなりません。
- 地域の文化遺産や価値観、市民の幸福と経済発展の間にあるバランスを守りながら、地域の人々を積極的に巻き込み、質の高い持続可能なサービスを提供したり、市町村の活性化に貢献したりできるように、観光や文化などの分野に関する政策を考える必要があります。

4. 観光（Cittaslow Tourism）

「観光業」は、自然遺産や文化資本である「景色」（*landscape*）と関係がある世界一の企業です。その理由、地域の経験、個性や特徴、特徴がある地域に属するプライドなどを守り、観光客は何人まで受けられるかを理解しながら、職業、食文化、ゆったりする生活スタイルを含める新しい「観光業」を生み出す必要があります。

★ 下記の取組を実施する必要があると思います。

- 特別な分野を限定する新しいサービスを提供します。
- 観光制度の競争力を強めます。
- より有効がある革新的なマーケティングを発展させます。
- 地域の人々も参加できるガバナンスを実施しながら、地域に関する政策や戦略を考え、その効果を監視します。

（ラウラのメモ） 現在、チッタスローに加盟した多くの市町村は、観光発展に関する様々な実験をしています。それは、地域の知識を大事にしながら（例：地域のことをよく知っている市民はガイドになったり、観光客に地域の職業や生活などを体験させたりする）、地域コミュニティに悪くて大きな影響を与えない観光サービスを発展することに目指します。

5. 農業生能学

現在、単に農業は食品を生産する目的があるものとして思われなくなりました。多様性や持続可能性があり、社会に対して公正的になる新しい農業のモデルを考え直す必要があります。このようなモデルの基本は、多くの生能学的な農業技術を利用している数切れない小中農業企業です。その企業は、現代技術を使わないで、世界中で食べられている食品の大部分を生産しています。「農業生能学」というのは、伝統的な農業知識と現代の農学の「話し合い」ということですが、このような「話し合い」は、生能学的な精神や概念を利用することで、自然過程は外からの干渉の代わりになる持続可能な農業生能系を企画・管理できるようにします。

★ 下記の取組を実施する必要があると思います。

- 農業性能学を強めます。
- エコ地域や食品地域を発展します。
- 地域内で健康的な食品（美味しい・クリーン・公正的）を生産します。

6. コミュニティに提供するサービス（新しい健康社会福祉）

現代社会は、経済的な発展、ロボットや AI などの技術の普及の大きな影響を受けましたので、市民の生活スタイルや仕事する方法なども変わってしまいました。その結果、現代の人々は多くの新しい挑戦と向けてはいけなくなりました。現在、一般市民は、特に医療サービスを求めています。そして、子育てや教育に関するサービスも欲しいです（例：教科書を買ったり、学校の食堂や保育園を利用したりするための補助金）。最後に、追加の健康保険が欲しい市民もいます。国政は、このような問題を解決しようとしませんので、「副次社会健康福祉制度」はそれを対応しています。多くの NPO、民間企業などの機関は、民間レベルで市民の要求を対応するために、様々なサービスを企画し、発展しています。

★ 下記の取組を実施する必要があると思います。

医療と健康：より質の高くても安くなる医療サービスを提供する新しい制度を考え直す必要があります。また、田舎と始め、地域コミュニティ内で実験できる技術の革新を導入し、地域によって遠隔医療のようなサービスも提供することも可能にしたいです。

教育：教育に関するサービスは、優先です。新世代は持っている知識を広げ、地域に存在する文化や環境の資源について意識を増える必要があります。

交通：質の高い交通制度が必要です。それは、環境にやさしく、自転車、歩行、車シェアリングなどの「スロー」な交通方法も含めます。

（ラウラのメモ） 現代の社会では、弱く見える方は疎外されがちです（高齢者、移民、貧乏人など）。そのような方を社会へ包括するように相応しい方法を探する必要があります。

7. 政治や行政機関

まず、我々の市町村は、市民は「グリーン市民」になるように尽力を尽くす必要があります。市町村を作るのは、我々の市長たちや市民です。我々の行為は、我々のまちの発展などに大きな影響を与えますので、住んでいるまちでの生活を改良するために、皆で積極的に努力しなくてはなりません。

8. 補助性：オープン政府からオープンガバナンスに

（ラウラのメモ） 現在、どこに行っても、代表制の民主主義は大きな危機と向っていることは明確になりました。また、一般市民は政治に参加する方法は、もうこれまで利用された政治体制の仲介を含めなくなりました。その理由、市民はもう一度政治・行政に参加したくなるように、新しい方法を研究しなくてはなりません。

現在、いわゆる「特別の権能を与えるプラットフォーム」(enabling platforms) という道具は、「新しい公益を創作するためにデザインしなくてはなりません。なぜかという、様々な人に感想や情報を交換する機会を提供し、人々を繋げながら、市民の日常生活を改良することに貢献できる広い無形の技術インフラだからです。」

代表制・仲介制の危機は、地域に革新を持ち込んでくる様々な方々を繋げる「網」を消してしまいましたので、今後、どのようにその「網」を作り直せばいいか、地域に散在する多様な人源をどのように統合すればいいかを理解する必要があります。目標と結果がトップダウンの決定プロセスではなく、当事者間の相互作用に決められ、地方自治体と国政の革新主体間の協力を可能にするオープンなプラットフォームをどのように作ればいいのかも理解しなくてはなりません。オープン政府の模範を全面的に採用して官僚制のモデルを克服するという目標は、市民の自主的な取組を促進する水平的な補助性の原則を具体的に適用することで達することができます。

9. デジタルなネットワーク

生産と持続可能な開発に関する予測モデルは、階層化されたデジタルなダイナミック・ネットワークに基づいて大きな容量を持つ科学的な分析を出します。現在、IA と認知心理学に関する研究の結果として、認知過程と社会的、関係的、経済的動態の相関は、もう認められました。それは、教育と社会に大きな影響を与えました。

- 市場は、より強い流動性と互換性の特徴があるデジタルなエコシステムに置き換えられています。その結果、新しい経済的な問題も規制的な問題も現れました。
- 前例のない多層市場の経済シナリオが現れました。そのようなシナリオの特徴は、取引だけではなく、取引を実施する様々な当事者の役割の極端な流動性です。
- OTT (Over-The-Top) サービスも現れました。OTT というのは、インターネット回線を通じて、メッセージや音声、動画コンテンツなどを提供する、通信事業者以外の企業ということです。革新的な生産と事業構造を持ちますので、様々な分野や地域におけるサービスを提供できます。これにより、経済的な競争力があり、順応的な企業となります。

10. 多数所属 (*Multi-Belonging*)

我々一人一人は、異なるコミュニティの一部であり、異なる国境の経験があります。ただし、境界には、「そのコミュニティの繋がりを容易にする物」（各コミュニティは、様々な関係を作るために利用する資料など）も、「仲介する要素」（コミュニティに関係を作る機会を提供する人など）もあります。

2019 年の会合概要提案

欧州地域間協力団体

概要、歴史

2014 年の会合中に、欧州の法人を設立する提案は採択されました。この法人は EGTC チッタスローと呼ばれています。欧州委員会は最近この法人の設立を許可しました。この書類の 1 ページは会合の提案の概要です。「進歩とメンバーシップ EGTC チッタスロー」というチャプターは目的、可能性、また法人の法的要件に関して、情報を提供します。付録は法的手続きに関する情報を含めています。

概要、EGTC チッタスローの目的

20 年後、我々の運動の目的は未だに同じ：我々の自治体での生活を改善する方法。社会的な文脈が国際的に変わってしまいました。人々はより少ない個人主義、より良い環境的な状況、またより多い社会的平等を要求しています。チッタスローの哲理は我々の自治体にとって、ローカルコミュニティのニーズのための支援を提供する「生き様」です。

国連及び欧州アーバンアジェンダからの持続可能な開発目的は、生活の質を改善することに貢献する国際団体の例の 2 つです。我々の共通のチッタスローの哲理に基づき、我々の自治体の中の国際目標を果たすことができます。我々の「公平かつ持続可能な幸福に関する協定書」はこれらの国際目標の採用に基づいています。

EGTC チッタスローの設立は強い国際地位を確保してくれます。これは、チッタスローを欧州委員会と他の欧州団体の本格的なディスカッションパートナーにしてくれます。欧州組織に加盟することを通じて、チッタスローを意識する人を増やすことができます。それに、我々はまた欧州からの助成金及び資金を得ることでもっと成功するかもしれません。

概要、設立

EGTC チッタスローを設立するための官僚的な手続きがイタリア（ボッリカ自治体、ステファノ・ピザーニ市長・会長）及びオランダ（ミッドデन्दelfラント自治体、アルヌードローデンバーグ市長・副会長）から完成されました。他の自治体も現在、EGTC チッタスローのメンバーに公式になることができます。EU 加盟国及び候補国の自治体が EGTC チッタスローのメンバーになることができます。

我々は市長たちが EGTC チッタスローのメンバーになること及びメンバーになれるためのそれぞれの国の手続きを行うようお願い申し上げます。:

<https://portal.cor.europa.eu/egtc/about/Pages/national-dispositions.aspx>

概要、プログラム

EGTC チッタスローにはワークプログラムが必要です。チッタスローの哲理また公平かつ持続可能な幸福に関する協定書はこのプログラムの基礎を構成します。

我々は、人がワーキンググループである「2019 年～2020 年 EGTC のワークプログラム」への参加に応募するようお願い申し上げます。

概要提案/決断依頼

1. 市長は自分の自治体が EGTC チッタスローのメンバーになることを報告するものします。
2. 各 EGTC チッタスローのメンバーは彼の政府の許可のための国立手続きを行うものとします。
3. アニュアルプログラムを作るために、ワーキンググループを設立するものとします。
4. 6 月 22 日の会合までにワーキンググループへの任命を申請する人。

例ボード決定 EGTC

EGTC

EGTC は、ローカル自治体と地方自治体が国境を越えた、国際的な、そして地域間の協力を行うことを可能にする欧州の法人です。これは規制（EC）1083/2006 に含まれています。EGTC チッタスローは、国際的な協力の使用目的です。EU は、経済的かつ社会的結束を強化する目的で、法的人格の協力を培い、促進するように EGTC を設計しました。地域委員会は 2011 年に EGTC のためにプラットフォームを設立しました。このプラットフォームの目的は、EGTC の興味を促進し、欧州の機関の中で意識を高め、領域的かつ国際的な協力の可能性に対して話し合い、地域委員会の顧問業務を支援することです。その結果、EGTC は EU において強く、正式な地位を占めます。

意図的な効果

EGTC 設立の第一の目的は、自治体及びチッタスローネットワークの国際オリエンテーションを目に明らかにすることです。チッタスローの哲理及びヨーロッパアンジェンダの原則、また国連からの持続可能な開発の目的は様々な共通点があります。通常自治体の業務から、我々は、我々の自治体の中での生活の質を改善するための国際的な目的の目標において、質及びアイデンティティを改善することに取り組んでいます。

EGTC のメンバーシップは欧州委員会においてより良い地位を確保してくれます。これは欧州の助成金のための可能な申請書の可能性を高めてくれます。規制（EC）1083/2006 の第 37 条は、EGTC を通じて、欧州の資金と協力する可能性を明白に提供しています。チッタスローの活動及び結合資金の科学的な実証のために、可能性のある資金は、Erasmus（エラスムス計画）及び URBact を含めています。

お州のオリエンテーション

EU は自治体にとって存在している現実です。自覚する決定的な自治体には、未来に欧州のオリエンテーションが必要です。EGTC に参加することで、ミッドデンデルフランドはこの地位を意識し、欧州の目標に取り組む準備ができたことを表示します。欧州の戦略は下記に基づいて成長をやり遂げることです：

- 教育、研究、またイノベーションをつなぐことを通じて、スマートコラボレーション（スマート）
 - 低炭素である経済及び社会に取り組むことを通じて、サステイナブル（サステイナブル）
 - 雇用に集中し、貧困を妨げることを通じて、社会的に責任ある成長（包含的）
- このヨーロッパアンジェンダに加え、ミッドデンデルフランドにおいてしばらく前から欧州のオリエンテーションがありました。チッタスローネットワークへの参加はこれの例です。それに、以下のような欧州の様々な助成金が使用されています。

EGTCに参加することで欧州の助成金を得る可能性を高めてくれます。

欧州の資金量が減りつつあります。これらの助成金を得るには、大規模なプロジェクトがよく必要なことになっています。全国的に、提出されたプロジェクトのほぼ15%が認められています。市長の協定書及びEGTC チッタスローに参加することを通じて、未来に可能性のある申請書のための助成金を得る可能性の増加があります。

チッタスロー国際連盟は科学委員会に支援されています。財源の不足があるため、活動は限られていて、完全に随意的です。EGTC の設立は科学委員会の会員の旅費及び生活費を返済する可能性を提供するかもしれません。これはチッタスローの活動のためのより実のある基礎、また自治体のためのクオリティマークの質を提供します。

可能な限り最高の世界に向けて

私は夢を見た。その夢の中である声が私に聞いた：あなたの意見では一体何が可能な限り最高の世界であるのか？

私はこう言った：可能な限り最高の世界は環境が尊重され、土地、川の水、湖と海、また私達が吸い込む空気が汚れていない世界だ。

私達が多量で生じるくずは問題ではなくて、でも資源であるところ。

ファーマーリングがオーガニックであり、有毒で有害な物は畑に普及してないところ。

生物多様性がほごされていて、遺伝子組み換えが禁止されているところ。

ミツバチが暮らせ、ミツバチが花を受粉させてくれる生態系を救うには、全力を尽くすところ。

私達の領域の風景が尊重されているところ。

私達の町や村の建築に暴力のないところ。

歴史的記憶が保たれ、私達は私達の根を完全に意識するところ。

可能な限り最高の世界は、私達が必要とするエネルギーが太陽、水、風などの再生可能資源から生み出されるところ。

私達の加温が化石燃料から生じるものではないところ。

できれば、車は歴史的な都市中央に入らないところ。

あなたは自転車を使うところ、あなたが歩くところ、あなたが公共交通を使うところ。

あなたは近所の店や自然なショッピングセンターを救おうとするところ。

あなたはまだ私達が昔のように調理したものを食べるところ。

あなたは全力を尽くして、ローカル領域から生み出される食品を食べるところ。

食べ物の教育が学校で教えられるところ、食べ物が費やされていないところ。

可能な限り最高の世界は、観光客がお客さんではないが、滞在客であるところ。

私達はどこから来たのを知って、私達は未来へ行くところ。

誰もが見捨てられていないところ。

みんなはコミュニティーの積極的な一員であるところ。

毎日私達はよりいい生活を暮らせるために、多くの小さい行動をするところ。

私達はみんなのために生活の質の向上に取り組んでいるところ。

全力を尽くして私達の町やローカル領域の伝統を救うところ。

仕事、開発、また経済が、私達の町やローカル領域に存在する数多くの自然で、歴史的、芸術的、文化的、環境的、また風景的な資源の賢い使い方に集中することを通じて、作られるところ。

私達はグローバル化した経済の絶え間なく消費主義に吞まれていないところ。

可能な限り最高の世界は、地球が与えることができる以上のものを地球に求めることなし

に、人が平和や調和なままで住んでいる土地で生きるところ。

でも、その夢にある声が私に聞いた：そのような世界が存在するのか？

私はこう言った：私は描いた世界が存在するかどうか分からないが、一つだけ教えられる。

何ですか？

20年にわたり、私達のますます小さくなっている世界の200以上の町で、識者であり、公共気のある市長、管理者、また吏人のコミットメントのおかげで、私達はこれらの町とそこに住んでいる人々を可能な限り最高の世界に近づかせるために、毎日努力しています。

これらの市長、管理者、また公務員は、数え切れない熱心な市民と共に、チッタスローの理念や哲理に影響を及ぼされているベストプラクティスを採択し、採用し続けます。

オルビエート、2019年6月

パオロ・サトゥルニーニ

イタリア、フィレンツェ、グレーヴェ・イン・キャンティ市の元市長

チッタスロー国際連盟（住みやすい町のネットワーク）の名誉会長及び設立者

共同行動のためのマニフェストのための提案

EUROPARC-自然と欧州の国立公園連盟

チッタスロー国際連盟

公平かつ持続可能な幸福には、

ダウ・ジョーンズ指数を基礎にして母国情緒を測定することができません。

同じく、国内総生産を基礎にして国の成功を測定することもできません。

国内総生産は何でも測定しますが、生きることに値するものだけ、測定しません。

ロバート・ケネディ (Robert F. Kennedy)、1986 年 3 月 18 日にカンザス大学のスピーチより

必須条件

EUROPARC 連盟は保護エリアのための欧州組織です。欧州に、独自の野生動物の多様性や、生息地及び風景を保護する目的を共有している 38 カ国での国立公園、地域公園、自然公園、また生物圏保護区を集めます。EUROPARC 連盟は欧州にわたる保護されている公園及びエリアの政策及び管理の実践に従事している様々な団体及び個人を近づけます。創設時の 27 年間にわたり、「グッドプラクティス」を広めることや保護エリアのネットワークの共通認識を促進するために努力しました。

EUROPARC 連盟は、「我々の自然遺産への言質：欧州の未来への鍵。持続可能な経済、生物多様性や方向気候変動への支援を促進するための保護エリア、」という EUROPARC 連盟の 2019 年に出版した書類の中で、次の EU 議会への 6 つの行動ポイントがある挑戦を始めました。欧州には持続可能な経済開発が必要です。保護エリアは、生物多様性と風景の保存のために必須ばかりでなく、社会的により包含的、環境的により健康的かつ経済的に実行可能な社会モデルを促進するための重要な研究所でもあります。保護エリアは現在の農村放棄を妨げたり、コミュニティ参加を促進したり、グリーンジョブを支援したりします。保護エリアは持続可能な観光地を作り、持続可能な農業プラクティス及び農家の間のパートナーシップ、または保護エリアの管理を奨励します。保護エリアは自然を人間の健康や幸福のための不可欠な資産として大事にしています。EUROPARC は、国際協力、能力形成、またプロジェクトの管理を通じて、特に観光産業、農業また健康セクターに集中しながら、保護エリアにおいての持続可能な開発を促進します。

チッタスロー国際連盟の運動は公平かつ持続可能な開発のために、260 人以上の市長（その中で 180 人以上が欧州人）を 30 ヶ国から集め、協会において得られた運用提案（2030 年市長の協定書）に従事していて、欧州地域委員会を通じて本会が協定書を作りました。欧州地域委員会は委員会に 2020 年から 2030 年までのプログラミングを提案します。ネットワークは研究、実験、市と領域の組織の解決の応用を通じて、グッドリビングの文化を促進し、広める目的があります。アイデンティティ、メモリー、環境保護、正義及び社会的な包含、コミュニティーまた活動的な市民権などは協会が促進する価値観のひとつです。

2030 年市長の協定書は、具体的な提案を通じて 2020 年から 2030 年までの欧州委員会の行動を支援する役です。10 の政策を通じて、エネルギーや持続可能性のために、市長の協定書で達成したことを開発し、気候、エネルギー、交通、また自然の現在の介入戦略を支援することを目指しています。なお、持続可能性、社会的な責任、収入再分配、社会正義、また活動的な市民権などの価値観に加え、「幸福」という概念をまとめて、含む必要を強めます。

我々の経済及び環境のための持続可能な未来を果たすために、メンバーの代理として、EUROPARC 連盟は下記の通りをするために、行動を求めます：

1. 全ての欧州の構造基金において（例：欧州地域開発基金、欧州社会基金、結束基金、農村開発のための欧州農業基金、また欧州海事漁業基金）保護エリアの持続可能な経済的な開発のための研究所である役割を承認します。
2. 全ての主要な欧州の政策（土地の使用、農業、農村開発、都市計画、交易、研究）において、生物多様性の保存及び回復を包含します。献身的なプログラムや基金（例：Life, CAP, Horizon）を増やし、保護エリアをこれらの政策を採用する主要な有力者として承認します。
3. EU の気候戦略と対象において、気候政策を優先リストの高い順位に入れ、自然保護の一般な統合を確保し、特に保護エリアの役割を評価します。
4. 農村開発において保護エリアの役割を承認し、共通農業政策においての適宜な対策及び基金を通じて、保護エリアと連携している農家を支援し、褒賞します。
5. EU 青年戦略の枠組において、若者の農村及び保護エリアへの関係を促進し、支援します。なお、若者の優先事項を EU の主要な政策において統合し、若者が自分たちの農村環境やコミュニティーで生活し、学び、働き続けるための真の機会を創出します。
6. Natura2000 の敷地、ラーバン（メモ：ラーバンはルーラル [農村の] とアーバン [都市の] の合成語です。）保護エリア、国境を越えた公園名田、保護エリアのネットワークに基づいて欧州グリーンインフラストラクチャー戦略を開発します。

2030 年市長の協定書は 2 つのレバーに基づいて、オルタナティブアクションモデル（代替行動モデル）を提案します。

1. プログラミングツールとしての BES 指数です。国内総生産を超えると予想されていて、BES を採択します。政策立案のための公平かつ持続可能な幸福。BES は、教育、仕事、社会的結束及び持続可能性に関するデータを経済データに統合することを目指している測定指数です。BES は、2030 年アジェンダの目標に向けて政策を推進するのに役立ちます。
2. 開発ツールとしてのスマート及びスローモデルです。その目的は、チッタスローが経験しているような環境及び個人、イノベーション及び伝統、スマート及びスローに集中する多分野アプローチを採択することによって、社会経済的な介入を広めることです。

BES 指数及びスマート及びスローモデルの運用のための初めての提案される 10 セクターは下記の通りです：

1. 循環経済
2030 年の協定は、利益の目標を持つことばかりでなく、社会進出や環境保護の目標も持っている経済開発のモデルへの推移を支援しています。そのアクションエリアは、次の通りです：生産、消費、廃品管理、二次原料のマーケットの促進。
2. 自然資本
2030 年の協定は、自然資本の保護及び強化、すなわち生物多様性によって人類に提供される物理的、金銭的かつ福祉的な価値観のセットを支持しています。そのアクションエリアは、次の通りです：エコシステムのためのサービス、養分循環におけるイノベーション、気候と潮の統制、水の精製、美の文化。
3. 文化資本
2030 年の協定は、社会的な関係性に基づいて、社会地位及び力を与えてくれる蓄えられた文化知識も含め、文化資本及び自己啓発を促進してくれます。そのアクションエリアは、次の通りです：物質的かつ非物質的およびデジタル文化遺産の間の対応、分野横断的な政策、またマルチレベルガバナンス。
4. 公平かつ持続可能な観光
2030 年の協定は、公平かつ持続可能な観光戦略を強化し、文化的かつ創造的なセクターを統合し、ローカルコミュニティの参加及び都市地域や農村地域の再生を促進します。そのアクションエリアは、次の通りです：領域帰属及び多様性、新しい観光企業の収容力、クラフトビール、食品及びワイン、またスローネスの文化の統合。

5. アグロエコロジー

2030 年の協定は、生態的な、生物多様性的、強い、持続可能な、また社会的に正当な視点において、より堅実な農業を促進してくれる農業開発の代替パラダイムを支援しています。そのアクションエリアは、次の通りです：生物区、食品区、部屋での健康的な食糧の生産。

6. 生成的福祉

2030 年の協定は、技術的なイノベーションを開始し使用し、営利か非営利の公共ネットワークを設立し、新しい関係を作り、社会的なイノベーションを出産する新しい福祉モデルを求めています。そのアクションエリアは、次の通りです：健康及び健康サービス、子供のためのアクションエリア、教育及び雇用サービス、新しい形態の質の高いモビリティ。

7. 制作及び施設

2030 年の協定は、我々を、欧州の市民「グリーン市民」の建設に直接取り組み、論理に支援されている新しい欧州の文化に埋没するように刺激しています。我々はその都市です。これは、市民の益々責任的かつ活動的な参加を生み出せるでしょう。そのアクションエリアは、次の通りです：能力構築、市民的かつ政治的な参加、共有されている行政。

8. オープン政府からオープンガバナンスへ

2030 年協定は、人と物をつなぎ、情報を統合し、知性を生み出し、日常生活を向上させ、継続的に改善することができる、優れた共通デジタル形式を構築するように設計された「有効化プラットフォーム」を支持しています。そのアクションエリアは、次の通りです：社会技術的プラットフォーム、オープン政府及びオープンガバナンスパラダイム、自律的イニシアチブ。

9. デジタル層

2030 年協定は、新規取引の生産と開発、関連市場の定義、行政の競争力および規制問題に関する予測モデルを奨励しています。そのアクションエリアは、多層マーケット、新しい有力者、軽くてイノベーション的な業務。

10. MULTIAPPENENTENCE（これは言葉ではありません）

2030 年協定は、2030 年条約は、「国境の暮らし」（ウェンガー、2006 年）としてのマルチメンバーシップを奨励しています。それは国境の異なるものの経験を持つように練習の様々なコミュニティにおいて、人の経験を刺激しています。国境は、社会的および持続可能性の要因を共有するために利用可能にされたつながりの創造の、共通の利益のための共有された探求の基盤にあります。

欧州連合は、これらの挑戦に取り組むための基礎的なステップを作り出しました。また、今後何年も、更なる開発と更に効果的な履行を要求するような良い法律を制定しました。欧州議会は、環境が最も重要であると考え（ユーロバロメーター（欧州世論調査）

2018) 欧州市民からの高い期待に応えなければなりません。

これからの国際的な事実は、メンテナンスや保護や保存が不可欠である共通の意思の表現と、自然と文化遺産の上位概念であるということを象徴します。

新たな欧州人と国際的な命令の中では、これらのネットワークは、並外れた伝統の再生とともに、全世界中から知識の体験をしたいといった沢山の観光客を既に引き寄せている広大な自然と文化遺産の再生、現代と我々の目の前にある未来の問題の団結した解決の中での共有と協力の再生を表します。そして、全てのネットワークと同じく、それは人間がまだスロー、有益な季節の自然なる連続である再発見された時代の好奇心がある幾千人に活気づけられています：

- 市民の健康や産品及びグッドフードの信頼性を尊重する（世界）
- 再生及びクラフトの伝統、貴重な美術品、広場、劇場、お店、カフェ、レストランの妖艶なところ、また精神及び汚れのない風景だらけ（の世界）
- 宗教儀式の自発及び信頼性、環境及び伝統、また緩やかで穏やかなグッドリビングを尊重することを特徴としている（世界）

上記に沿って、EUROPARC（欧州の自然と国立公園連盟）と、チッタスロー国際連盟の運動の会長達は、下記を確認し、コミットする：

戦略やプロジェクトに基づいた友好的協定のために、運用上の観点から見た情報を共有し、宣伝し、次のようなグッドプラクティスを交換する：

1. 持続可能な開発の 2030 年のアジェンダへの支援は、2015 年 9 月に 193 の国連の加盟国に署名された、人々、地球、また繁盛のためのアクションプログラムです。合計 169 の対象のために、主要なアクションのプログラムにおいて、17 の持続可能な開発目的（SDGs）を網羅しています。
2. EU の自然、市民、また経済のためのアクションプログラムの登録及び開発。
3. 公平かつ持続可能な幸福のための市長の協定書の執着及び分布。
4. 責任的かつ持続可能な観光への挑戦
5. グローバル化され集中された近代的な感覚を、土地の猛烈な荒廃と、持続不可能な資源の消費を浪費に逆転させることによって、領域を再生します。

EUROPARC（欧州の自然と国立公園連盟）

と

チッタスロー国際連盟

の

会長達

スローシティ前橋・赤城

国際連盟への加盟と加盟後の事業展開について

(2017.5～2018.12)

➤ スローシティとは？

スローシティとは、1999年に本市の友好都市イタリア・オルビエート市などで発祥した地域の食や農産物、生活・歴史文化、自然環境を大切にし、個性・多様性を尊重する新たなまちづくりを目指す取り組みです。

2018年11月現在、イタリアをはじめとするヨーロッパを中心に30か国252の都市が加盟している国際的な組織です。

※2019年6月の国際会議で新たに10都市の加盟が認められ262都市となりました。

(注意) チッタスローが正式名称ですが、原則としてスローシティを用いています。



スローシティ国際連盟のロゴマーク

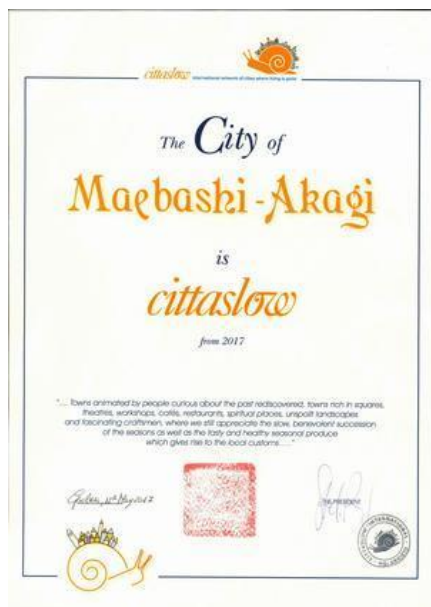
自然豊かな場所で生き、ゆっくりと前進するカタツムリが、背中に人々の暮らす街を背負っています。

<2017年>

➤ 前橋市のスローシティ国際連盟加盟

本市は、赤城南麓のブランド力向上のため、スローシティ国際連盟への加盟を申請しておりました。

審査の結果、2017年5月12日に前橋・赤城地域（芳賀・大胡・宮城・粕川・富士見地区の一部）の加盟が認証されました。日本では、宮城県気仙沼市に次いで2番目の加盟となります。



スローシティ加盟認定証



スローシティ国際連盟加盟周知のフライヤー

イタリア・オルビエート市在住の本市国際交流名誉アドバイザー徳永詢氏に多大なるご協力をいただき、スローシティに関係する市民団などが、2017年6月16日にスローシティ国際連盟本部（オルビエート市庁舎内）を訪問。

その際、本市とオルビエート市との友好都市20年という繋がりから、特別にオルビエート市長より、スローシティ国際連盟事務局長など関係者立ち合いのもと、スローシティ国際連盟加盟認定証が市民団代表に授与されました。



オルビエート市長及び関係者と市民団による記念撮影



認定証を手にするオルビエート市長



スローシティ旗を手にするオルビエート市長

➤ 「前橋・赤城スローシティフェア」を開催（2017年11月4日）

スローシティ国際連盟加盟を記念するとともに、イタリア・オルビエート市との友好都市締結 20 周年を祝し、カネコ種苗ぐんまフラワーパークを会場に「2017 前橋・赤城スローシティフェア」を開催。

メイン会場のカネコ種苗ぐんまフラワーパークは開園 25 周年記念事業として入園は特別無料。

本市の食や農産物を味わっていただき、歴史文化なども体験、体感できるイベントとなりました。当日は晴天の中、サブ会場を含めて 3,000 人の方々にお越しいただきました。



国際連盟ピザニ会長から山本市長への認定証授与



スローシティ旗を掲げる山本市長及び関係者



イタリア及び韓国、日本の来賓



伝統芸能ステージでの八木節の披露



2017 スローシティフェアのチラシ（表面）



2017 スローシティフェアのチラシ（裏面）

➤ 前橋市役所 1 階東出入口付近に「スローシティコーナー」を設置

スローシティの認定証や友好都市 20 周年を迎えたイタリア・オルビエート市の紹介パネルを設置しています。市役所にお立ち寄りの際はぜひご覧ください。



認定証やチッタスロー旗等の物品



赤城山の写真と前橋・赤城スローシティの周知用ポスター

< 2018 年 >

➤ スローシティ区域に表示看板を設置

スローシティ区域内の道の駅など観光施設 9 か所にスローシティ前橋・赤城地域を表示

する看板を設置しました。(2018 年 3 月)

・設置場所

	場 所	所 在 地
1	畜産試験場交差点 (スローシティモニュメント設置場所)	前橋市富士見町小暮 2416-1
2	赤城山総合観光案内所	前橋市富士見町赤城山 1-14
3	ぐんまフラワーパーク	前橋市柏倉町 2471-7
4	道の駅ふじみ	前橋市富士見町石井 1569-1
5	道の駅ぐりーんふらわー牧場・大胡	前橋市滝窪町 1369-1
6	粕川温泉元気ランド	前橋市粕川町月田 372
7	道の駅赤城の恵	前橋市荻窪町 530
8	赤城南面千本桜の森公園	前橋市苗ヶ島町 2511-2
9	あかぎ広場	前橋市富士見町赤城山大沼付近



スローシティ区域表示看板

➤ 畜産試験場交差点に「シンボルモニュメント」を設置

スローシティ前橋・赤城を周知するため、スローシティ国際連盟のシンボルであるカタツムリをモチーフにしたシンボルモニュメントを畜産試験場交差点に設置し、関係者へお披露目しました。(2018 年 3 月 28 日)

お披露目式では、制作者の茂木康一さんから作品に込められた思いなどが語られました。

- ・ 名 称 スローシティシンボルモニュメント
- ・ 材 質 ステンレス（本体、頭部）、鉄（撚糸機械部品）
- ・ 設置場所 前橋市富士見町小暮 2416-1（畜産試験場牧草地内）

- ・ 制 作 者 茂木康一氏（金属彫刻家）



スローシティシンボルモニュメント



関係者によるモニュメントお披露目の様子

➤ 「シンボルモニュメント」の周囲に無償で花壇を造成

前橋・赤城スローシティを周知するため、畜産試験場交差点に設置したシンボルモニュメントの周囲には柵等がなく、子どもが触ってけが等をする可能性があり危険だとの声がありました。

こうしたことから、モニュメントの周囲に花壇を造成し事故防止に役立てたらどうかとの声が上がリ、富士見地区地域づくり協議会の声掛けにより、地元企業である八洲（やしま）総合石材様が、モニュメントの周囲に無償で花壇を造成くださいました。（2018年6月25・26日）



花壇造成時の様子



完成した花壇

➤ 富士見商工会女性部によりシンボルモニュメントの周りが花いっぱい

モニュメント周囲の花壇が黄色とオレンジのマリーゴールドや紫色のアゲラタム計約

100鉢で彩られました。(2018年7月12日)

この花苗は竹内園芸群馬農場さんよりご提供いただいたもので、植栽は富士見商工会女性部の皆様により実施されました。花の植え替えや水やりなどの管理も富士見商工会女性部の皆様により行っていていただいております。

スローシティは地域の食や農産物、歴史文化、自然環境を大切にし、ゆとりある質の高い生活を推進する市民主体の取り組みです。今回、地域の皆さまの手により美しい花壇が設けられました。本市としてもこれをひとつのきっかけに、スローシティ「前橋・赤城」の市民運動が広がるとともに、エリア内の地域資源を磨き上げ地域の活性化や観光振興に繋がるよう取り組んでまいりたいと考えています。



富士見商工会女性部による花植え



完成した花壇



富士見商工会女性部による記念撮影

➤ 景観に配慮した看板には補助しています

スローシティ区域内の主要幹線道路沿いにある看板を景観に配慮したデザインに改修し

た場合などに費用の一部を補助する取り組みを行っています。（平成 30 年 4 月から実施）

- ・ 対象者

市内に事業所等を有する事業者

- ・ 対象となる広告物（ポイント）

- 1 盤面は木製か木目調を基本とし、白、黒、緑、茶系統の色彩とする。
- 2 スローシティ「前橋・赤城」のエリア内であることを明示する文面をデザインに含める。（例：ここはスローシティ「前橋・赤城」認証地域です）

事例 レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場



現状



改修後

※写真はイメージです

※地域の景観が徐々に改善されています。

➤ 木質燃料ストーブの購入を補助しています

環境にやさしい木質燃料（薪）ストーブは、森林資源の活用促進による森林環境の保全などの効果があり、環境に配慮しゆったりとした生活を送るスローシティの考え方に通じます。このため、薪等を燃料として使用するストーブの購入費の一部を補助する取り組みを行っています。（2017 年から実施）

- ・ 補助対象者

スローシティ前橋赤城地域を含む富士見・宮城・大胡・粕川・芳賀地区の居住者

- ・ 補助対象経費

木質燃料ストーブ本体と煙突の購入費

➤ スローシティセミナーを開催

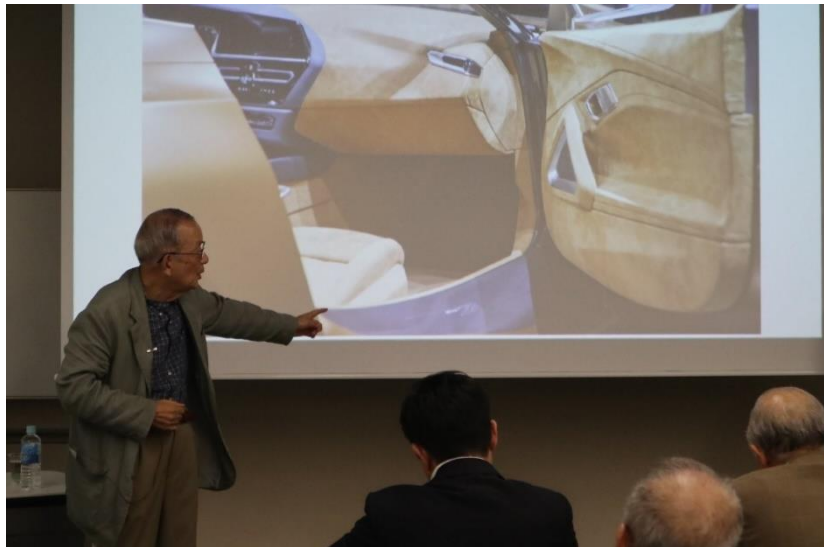
スローシティの周知や市民啓発、スローシティ運動の機運を高めることを目的にスローシティセミナーを2回にわたって開催しました。

■ （第1回）赤城南麓スローシティセミナー ～地域の持続的発展を求めて～

- ・開催日 2018年9月28日（金）
- ・会場 音羽倶楽部（神沢の森1番地）
- ・講師 小林元（はじめ）氏（小林国際事務所代表 元東レ・イタリア社長）

・内 容

イタリアでアルカンターラ社の経営に従事し同社をイタリア企業NO1と評価されるまでに育て上げた小林氏からスローシティ発祥の地イタリアの事例を交えながら、赤城南麓地域の持続的発展についてご講演いただいた。約60名が参加。第2部の意見交換会では白熱した議論が行われた。



講演する小林氏

■ （第2回）赤城南麓スローシティセミナー ～地域の眠った宝を探して磨こう～

- ・開催日 2018年10月18日（木）
- ・会場 大胡シャンテ ホール（大胡町15番地）
- ・講師 松本謙（ゆずる）氏
株式会社ファーマーズ・フォレスト代表取締役

道の駅うつのみやろまんちっく村、えにしトラベル等を運営
地域資源をブランド化し内外に販路を築く「地域商社」として活躍

・内 容

同社が取り組んでいる地域ぐるみの6次産業化や課題解決型観光ツアー等「地域商社」としての取り組みについてご講演いただいた。

地域の価値を高め住民の生きがいとなる同社の取り組みは、地域固有の文化や暮らしを尊重したまちづくりを目指すスローシティの考え方と共通するもので大変興味深く、会場からも多くの質問が寄せられた。



講演する松本氏



松本氏と山本市長によるトーク

➤ 「赤城山スローシティフェスタ」、「赤城山サイクルフェスタ」を開催

多くの方にスローシティの理念とこの地域の魅力を知っていただくことを目的に、カネコ種苗ぐんまフラワーパークで11月4日（日）に「赤城山スローシティフェスタ」が開催されました。また、今年度初めて「赤城山サイクルフェスタ」が開催され、「赤城山グルメライド」が同日開催されました。



前橋・赤城スローシティフェスタ実行委員会事務局 NPO法人 赤城自然塾(観光庁日本版DMO登録法人)
Tel.027-212-2611

スタンプ数に応じてプレゼントがもらえる！抽選で豪華賞品が当たる！

自転車で走るスマートフォン専用のスタンプラリー

無料

ご参加にはご登録が必要ですが！
スマートフォン/携帯電話/メール

赤城山サイクルスタンプラリー

2018 **9/15** 土 ~ **11/30** 金

スタンプポイント

前橋市「まえばしサイクルハウス」
桐生市「新屋戸」黒保根町「龍崎サイクルオアシス」

龍崎サイクルオアシス、まえばしサイクルハウスにておこなわれる二日間限定のみ、スタンプがもらえる「**クリア賞**」が抽選あり！【スタンプをスタンプラリーに参加して、龍崎サイクルオアシス・まえばしサイクルハウスで集めたスタンプを提出し、抽選でクリア賞が当たる】

※本スタンプラリーにてスタンプを提出し、抽選でクリア賞が当たる。抽選は抽選日に行われ、抽選結果は抽選日当日の抽選結果発表会にて発表される。

※本スタンプラリーは「前橋市」「桐生市」の両市で実施される。クリア賞の抽選は抽選日に行われ、抽選結果は抽選日当日の抽選結果発表会にて発表される。

※本スタンプラリーは「前橋市」「桐生市」の両市で実施される。クリア賞の抽選は抽選日に行われ、抽選結果は抽選日当日の抽選結果発表会にて発表される。

<https://www.stampparty.net/tag2018>

主催・後援：いわせ 赤城山サイクルフェスタ実行委員会

事務局：NPO法人 赤城山自然環境光生日本庭園NPO（緑法人） TEL.027-212-6611

2018 サイクルフェスタチラシ（裏）



赤城山スローシティフェスタ会場の様子



イタリアワイン「ノベッロ」の販売



～赤城山グルメライド～ 開会式で参加者の記念撮影



～赤城山グルメライド～ 地元の食を楽しみながらサイクリング

イベントの詳細は以下ホームページをご覧ください。

・赤城トリップ（NPO 法人赤城自然塾ホームページ）



・赤城山サイクルフェスタ公式ホームページ



➤ サイクルオアシスを設置

赤城山周辺を走行するサイクリストに対し、安心と安全を提供する“おもてなしスポット”としてサイクルオアシスの整備に取り組んでいます。

具体的にはサイクルラック、簡易工具、空気入れ等を市と設置施設（店舗）間で協定を締結して貸与し、利用者へ貸し出すものです。

赤城山ヒルクライム大会コース周辺を中心に 2019 年 2 月現在、58 か所が開設中です。



➤ 赤城白樺牧場で5頭の羊を放牧

レンゲツツジの群生地として知られる白樺牧場では、牛の放牧が終了した後、雑草が生い茂ってしまうなどツツジの生育環境の悪化が懸念されていました。

放牧は赤城自然塾や赤城山観光連盟、地域おこし協力隊などと協力し、ツツジの保護を目的とした雑草の除草効果や新たな観光振興策として実施。6月から10月末までサホーク種の雌5頭を放牧しています。(2018年から実施)



赤城白樺牧場で放牧される羊

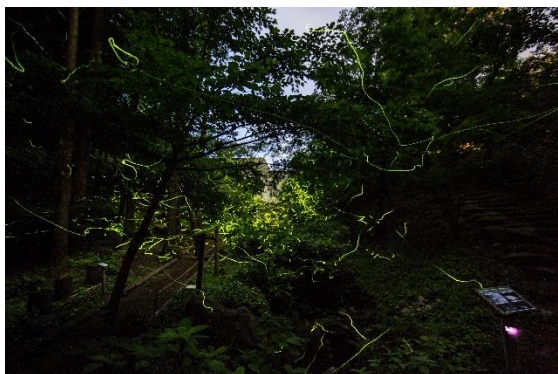
➤ スローシティエリアの魅力を発信【日本版DMO、NPO法人赤城自然塾の取り組み例】

2018年7月に観光庁の日本版DMOに登録されたNPO法人赤城自然塾では、赤城エリアが「住んでよし、訪れてよし」の地域として持続・発展していけるよう、地元根付く食や職、自然、農業など地域固有の資源を生かした体験プログラムの企画やプロモーション等を行っています。

■ ツアー・体験プログラム例

・赤城温泉郷宿泊者向けの「赤城温泉郷ゲンジボタル鑑賞ツアー宿泊プラン」

山々に囲まれた小さな温泉宿の集まりである赤城温泉郷とサンデンフォレストのサンデンの森ビオトープに生息するゲンジボタルの鑑賞をパッケージ化。



赤城南麓のゲンジボタル



赤城温泉ホテル 露天風呂

・極寒の赤城山を遊ぶ「AKAGI SLOW CAMPING」

赤城山麓の食材を使用した夕食や朝食のほか、薪ストーブの暖かさに包まれた特設ラウンジでゆっくりとお酒を味わう。赤城山の冬の風物詩「氷上ワカサギ釣り」や雪原を

散策する「スノーシューハイキング」などを体験するプログラム。



地元食材をふんだんに使用したディナー



赤城大沼の氷上ワカサギ釣り

・国指定重要文化財「阿久沢家住宅」ライトアップ事業

群馬県内でも最古の古民家の一つである阿久沢家住宅は赤城南麓の歴史を語る重要な文化遺産です。阿久沢家住宅とその入り口で毎年、見事な花を咲かせるカスミザクラのライトアップを実施。



ライトアップされた阿久沢家住宅とカスミザクラ



(参考) 昼間の阿久沢家住宅

・「赤城南麓 春のお花見サイクリングツアー」

環境に負荷をかけず、ゆっくりとローカルな旅が楽しめる自転車で、赤城南麓の桜やチューリップを楽しむサイクリングツアーを開催



道の駅ぐりーんふらわー牧場・大胡で記念撮影

・「赤城白樺牧場 レンゲツツジと新緑満喫ツアー」

普段は入ることができない赤城白樺牧場をレンゲツツジが見頃を迎える期間、特別に地元ガイドが案内するツアー。手つかずの自然と地元ガイドによるおもてなしティータイムや昼食なども楽しめます。

赤城山 秘密の絶景!
普段は入れない! **赤城白樺牧場**
レンゲツツジと新緑
満喫ツアー

2018
6/4月~19火
期間中の月~金曜日(平日のみ)
全 場:赤城山 赤城白樺牧場
集合場所:赤城山総合観光案内所
(群馬県利根郡みなかみ町赤城山1-1-1)

6/4日/7日/12日/15日
6/5日/8日/13日/18日
6/6日/11日/14日/19日

**地元ガイド
と昼食付
3,000円**

赤城山総合観光案内所
TEL.027-287-8061(9:00~16:00)
主催/AGASIPやまの湯-赤城山ガイド協会

ポスター



レンゲツツジと新緑満喫ツアーの様子